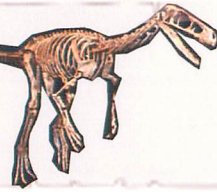


# 版



開会式のテープカット



## 恐竜博 2016 特別号

### 国立科学博物館で 恐竜博 2016 開催

現在、国立科学博物館で開催中の「恐竜博 2016」。三月八日の開幕に先立ち三月七日にプレス内覧会が実施された。当日は生命の真鍋真さんによる会場内の解説や海外の恐竜博士による化石の説明、また開会式が行われ、公式サポーターとして武井壮さんのトークやテープカットが行われた。

本展では、世界各地から集まった新発見の恐竜の足で様々なところに足を運んで積極的に体験をして、何をやりたいのかを発見してほしい。例えばそれが就職につながるならいいことだし、好きなことに取り組むことが大切」とメッセージを送った。新しい発見を求めて、あなたも恐竜博 2016 に訪れてみてはどうだろうか。

オリジナルグッズも充実



1877年設立の「科博」

恐竜に興味を持った。自分が何が好きなのかはやってみないとわからない。自分の足で様々なところに足を運んで積極的に体験をして、何をやりたいのかを発見してほしい。例えばそれが就職につながるならいいことだし、好きなことに取り組むことが大切」とメッセージを送った。新しい発見を求めて、あなたも恐竜博 2016 に訪れてみてはどうだろうか。

### 赤ちゃん恐竜 突起で2日3日マーカーション

全ての恐竜は最初とされている。しかし今までは赤ちゃんとして産まれても小さいパラサウロフスの個体を生ずる。子供が成長が発見された。大人のパラサウロフスには長すぎる過程は魅力的な大人の突起があり、そこから音を出し発見や解明が難しいといわれている。目視で確認できなくても互いの存在を知らせることができたのだ。一方幼体の突起は短く自立しないので大人が出す音より高音が出る。その音で親子の意志疎通を図っていたのだらうと想像される。この発見は高校生によるもので、誰でも科学に貢献できるということを知らした。また化石となった。



1歳にも満たない赤ちゃんの化石

### カナダから博士が来日 化石クリーニングの様子



化石が現れる瞬間

第二会場では「化石クリーニング」が期間限定で実施される。採取した岩石から化石を取り出す作業を目の前で見ることが出来るのだ。ラボ内で実施しているのは、カナダ出身でアルバータ大学のクワイヴ・コイ氏（写真中央）。三〇年以上クリーニングに携わり、世界で五本の指に入る人だという。運が良ければ歴史の瞬間に立ち会えるかも？

「恐竜博 2016」は 2016年3月8日(火)から6月12日(日)まで開催中！！

編集 編集部一同

## 恐竜で福島を応援 テンタオサウルスの修復

東日本大震災から五もた。恐竜をきっかけに年が経過した、失われた被災地を忘れてほしくない。修復された化石は「恐竜博 2016」で展示される。修復された化石は「恐竜博 2016」で展示される。修復された化石は「恐竜博 2016」で展示される。

## スピノサウルス 七〇年の時を越えて

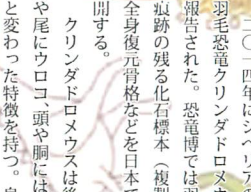
白亜紀中頃(約一億年前)のアフリカにはいなかった。大陸にスピノサウルスという、ティラノサウルスを超える大型肉食恐竜が存在し化石や様々な役割に展示されていた野町に里帰りする予定だ。



ダル・サットン博士とゾー・ジョット

## 恐竜の繁栄の秘密 標本による羽毛の発見

二〇一四年にシベリアの新種 類の系統である。ソンドトロメウスが 報告された。恐竜博では羽毛の「羽毛は恐竜が鳥類なり、他の爬虫類の残る化石標本(複製)やに進化の際に出現 類よりも長く活 全身復元骨格などを日本で初公した」という説から 動できたことが 開する。



鳥のような羽毛を持つ恐竜

元された全身骨格から 生活していた可能性が 界に行けると 「スピノサウルスは水 高まった。そして口の すれば何がし 中に進出していた」と先はワニの鼻先の構造 たいか尋ね いるものだ。理由としに似ており、水圧や水た。「スピノ てはスピノサウルスの 流を感じて濁った水 サウルスはま 前肢は普通の肉食恐竜 の中で魚を採るときに だ想像しつら より長く、その肢で四 役立ったといわれてい い部分がある 足歩行していたこと。 る。

## 新発見！歯に注目！ ベジタリアン恐竜

歯は肉食であるのが普通だ。それに 伴って通常の獣脚類の歯はナイフ状 にとがっている。しかしこのチレサ ウルスは獣脚類でありながら草食に 適応していた。まるで肉食恐竜の ような、植物をすりつぶすし形の歯 を持っていたのだ。肉食の祖先をも ちながらも環境に応じて は進化せず、羽 げて一日の活動 変化したチレサウルス。 毛がないと考え 時間が長かった 恐竜の進化はまだ未 知られていた鳥類とされるクリ 知の領域である。



歯の由来は「チリのトカゲ」

神奈川県立大船高校 新聞委員会  
http://www.ofuna-h-penkanagawa.ed.jp/school-life/arts:club.html#newspaper

編集 編集部一同

レイアウトデザイン 井門